

# 株主の皆様へ

第108期 第2四半期のご報告

平成28年4月1日～平成28年9月30日



株式会社 サンエー化研

証券コード:4234

# To Our Shareholders

株主の皆様へ



代表取締役社長 藤岡宣隆

株主の皆様には、日頃より格別のご支援とご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

第108期第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）の概要についてご報告させていただく前に、当社グループを取り巻く事業環境についてご説明させていただきます。

## ○ 当第2四半期の経済情勢

当第2四半期連結累計期間における世界経済につきましては、底堅い雇用情勢と堅調な個人消費を背景に米国経済は緩やかな拡大を続け、欧州においても雇用情勢の安定と個人消費の持ち直しによって、弱いながらも景気は回復基調を維持しました。一方、中国においては政府や国有企業による投資拡大が見られたものの、民間部門の過剰債務・過剰設備が重荷となって景気減速傾向が続いており、世界経済は依然として不安定な状態にあります。

わが国経済については、一部の業界で人手不足の深刻化が見られますが、賃金の上昇には至らず、個人消費の低迷は今なお続いております。企業業績についても、インバウンド需要の頭打ちや円高の進行などにより足踏み状態が続き、景気は横ばいで推移しました。

## ○ 当社グループの業績概況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績といたしましては、軽包装材料及び産業資材とも一部主要顧客向けの販売が低迷した反面、機能性材料の受注が大幅に伸長し、全体では増収となりました。また、損益面においては、新工場である掛川工場WEST及び研究開発活動の新拠点であるR&Dセンターの竣工に伴い、期中より償却負担が発生しましたが、原材料コストの低位安定と機能性材料の収益改善

によって、大幅な増益となりました。

その結果、当社グループの経営成績は、売上高156億24百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益7億38百万円（前年同期比24.1%増）、経常利益7億49百万円（前年同期比11.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億18百万円（前年同期比11.8%増）となりました。

## ○ 通期の業績見通し

第108期下期におきましては、翌期以降の成長につながる次の事業戦略をとってまいります。

軽包装材料においては、「レンジD o!」、「ポロン」、「テクニフィルム」、「エアロテクト」など独自商品のラインアップ拡充と生産性改善により収益力を強化いたします。また、汎用製品についても、品質の維持とコスト削減の両立を図り、FSSC22000\*認証取得を武器に大手企業からの大口受注の獲得に努め、安定した収益構造への転換を進めてまいります。

産業資材においては、今期竣工した掛川工場WESTを早期に本格稼働させるとともに、新タイプの電材用工程紙や炭素繊維プリプレグ用工程紙の製品化と販路開拓を加速し、低収益構造からの脱却を図ります。また、既存工場から新工場への生産移管を計画どおり進め、最適な生産体制を構築いたします。

機能性材料においては、中国蘇州市の合併会社：チョウテイ長鼎電子材料（蘇州）有限公司のユーザー開拓と並行して国内工場との協業体制の確立を進め、グループ全体

で液晶パネル用表面保護フィルムのシェア拡大に努めます。また、研究所の機能を強化して生まれ変わったR & Dセンターの稼働によって、顧客密着型開発態勢の下で新製品開発のスピードアップを図ります。

その結果、当社グループの通期の経営成績は、売上高310億円（前期比4.8%増）、営業利益10億20百万円（前期比12.7%減）、経常利益10億円（前期比26.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益6億71百万円（前期比25.3%減）を見込んでおります。

なお、セグメント別の売上高は、軽包装材料135億円（前期比4.1%減）、産業資材74億円（前期比0.8%減）、機能性材料96億円（前期比27.9%増）、その他5億円（前期比6.3%減）を見込んでおります。

\*オランダの非営利組織GFSI（グローバル食品安全イニシアチブ）によって承認された食品安全認証スキーム

平成28年12月



## 第2四半期決算ハイライト

■ 売上高

**156億24**百万円  
（前年同期比 3.8%増）

■ 営業利益

**7億38**百万円  
（前年同期比 24.1%増）

■ 経常利益

**7億49**百万円  
（前年同期比 11.3%増）

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益

**5億18**百万円  
（前年同期比 11.8%増）

# Segment Review

セグメント別のご報告

## 軽包装材料

45.0%



### 事業内容

食品、医薬品、医療器具、洗剤・トイレタリー用品、精密機器等の包装材料(包材)の製造・販売を行っています。市場ニーズを的確にとらえ、内容物に最も適したパッケージを供給するとともに、自然環境に優しい包材の開発にも取り組んでいます。

## 産業資材

22.5%



### 事業内容

粘着テープ・ラベル等の基材、剥離紙の製造・販売を行っています。近年は、粘着テープやラベルの用途が多様化・高度化しており、こうした要求に応え、長年にわたり培ってきたラミネート技術や離型剤塗工技術を駆使し、新製品開発を進めています。

## 機能性材料

30.8%

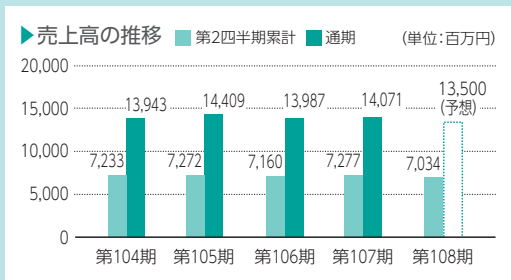


### 事業内容

機能性プラスチックフィルム(各種表面保護フィルム等)の製造・販売を行っています。光学用途の各種部材(フラットパネルディスプレイに使用される偏光板や輝度向上フィルム等)から建材用途に至るまで、様々な部材を製造工程や輸送時・保管時のキズ・ホコリ・汚染から保護します。

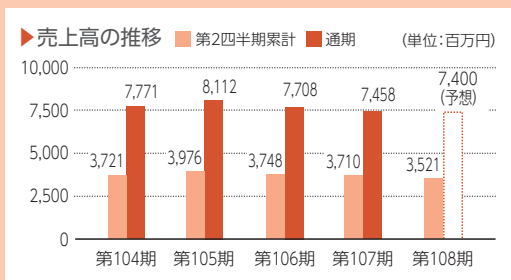
## 当第2四半期連結累計期間の概況

- ・ **食品用包材**については、電子レンジ対応食品包材「レンジD o !」が堅調。清涼飲料用パウチもゼリー飲料用が夏場の天候不順の影響を受けず売上伸長。一方、イーザーカットフィルム「ポロソ」をはじめ他の商材は個人消費の低迷により振るわず、この分野では減収。
- ・ **医薬品・医療用包材**については、高防湿P T Pシート用フィルム「テクニフィルム」の売上伸長により、他の製品の落ち込みを補い増収。
- ・ **電子・精密その他の包材**については、エア緩衝材「エアロテクト」が主力ユーザーの生産計画下方修正による影響を受け、その他の一般包材も競争激化による受注減で大幅減収。



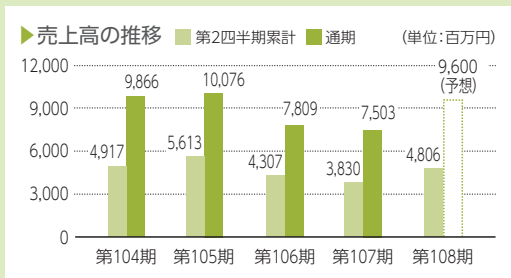
## 当第2四半期連結累計期間の概況

- ・ **テープ基材関連**については、建設・物流業界がともに停滞気味であったことから、テープ関連の需要が頭打ちとなり、円高による海外製テープ流入の影響もあって減収。
- ・ **剥離紙**については、自動車関連分野は比較的堅調に推移。反面、円高による海外製テープの流入や一部ユーザーの在庫調整等の影響で、両面テープ用剥離紙の受注が減少。I T関連分野に使用される電材用工程紙についても、海外の主要ユーザーからの受注が本格回復に至らず、剥離紙全体で大幅減収。



## 当第2四半期連結累計期間の概況

- ・ **「サニテクト」**については、光学用途の苦戦が続くなか、剥離フィルムのないP E T基材の「N Sタイプ」が受注回復。一般用途も回復傾向にあり増収。
- ・ **「P A C」**については、液晶テレビ関連分野で受注が回復するも、ユーザーの在庫調整の影響で一般用途の受注が減少し、減収。
- ・ **「S A T」**については、タッチパネル関連部材用及び液晶テレビ向け偏光板用の受注がともに増加。韓国・台湾向けの輸出も好調で大幅増収。



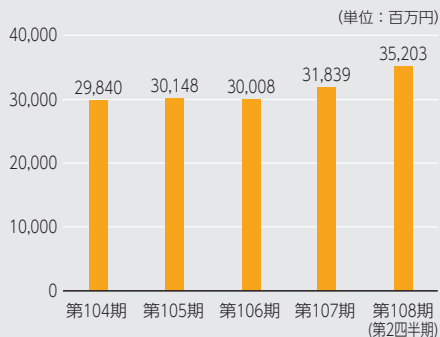
## 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

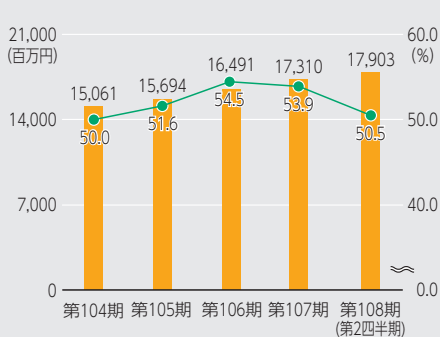
科目	前期末 平成28年3月31日現在	当第2四半期末 平成28年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	19,228	20,641
現金・預金	5,601	5,563
売上債権	10,273	11,384
たな卸資産	3,101	3,207
その他	251	486
固定資産	12,611	14,561
有形固定資産	7,059	8,729
無形固定資産	17	15
投資その他の資産	5,534	5,816
<b>資産合計</b>	<b>31,839</b>	<b>35,203</b>

科目	前期末 平成28年3月31日現在	当第2四半期末 平成28年9月30日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	12,882	13,521
仕入債務	6,045	6,838
短期借入金	3,220	3,230
その他	3,617	3,452
固定負債	1,646	3,779
長期借入金	233	2,204
その他	1,413	1,574
<b>負債合計</b>	<b>14,529</b>	<b>17,300</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	16,003	16,444
資本金	2,176	2,176
資本剰余金	2,136	2,136
利益剰余金	11,806	12,247
自己株式	△115	△115
その他	1,307	1,458
<b>純資産合計</b>	<b>17,310</b>	<b>17,903</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>31,839</b>	<b>35,203</b>

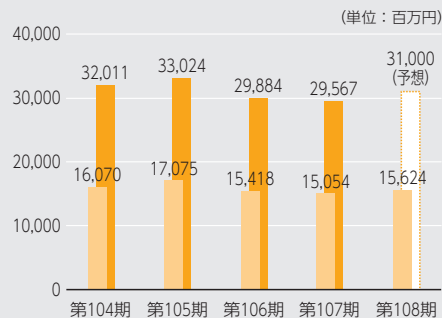
### ■ 総資産



### ■ 純資産 ● 自己資本比率



### ■ 売上高 ■ 第2四半期累計 ■ 通期



## 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期(累計) 平成27年4月 1日から 平成27年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成28年4月 1日から 平成28年9月30日まで
売上高	15,054	15,624
売上原価	13,004	13,205
売上総利益	2,049	2,419
販売費及び一般管理費	1,454	1,680
営業利益	595	738
営業外収益	114	95
営業外費用	36	84
経常利益	673	749
税金等調整前四半期純利益	673	749
法人税、住民税及び事業税	202	231
法人税等調整額	6	△4
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	463	518

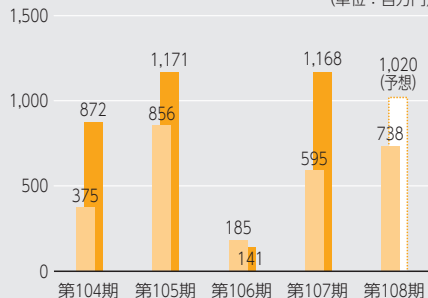
## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期(累計) 平成27年4月 1日から 平成27年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成28年4月 1日から 平成28年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	729	△58
投資活動によるキャッシュ・フロー	△150	△1,826
財務活動によるキャッシュ・フロー	△325	1,866
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△22
現金及び現金同等物の増減額	252	△40
現金及び現金同等物の期首残高	5,265	5,481
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,518	5,440

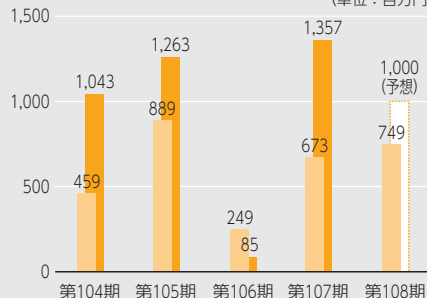
■ 営業利益 ■ 第2四半期累計 ■ 通期

(単位：百万円)



■ 経常利益 ■ 第2四半期累計 ■ 通期

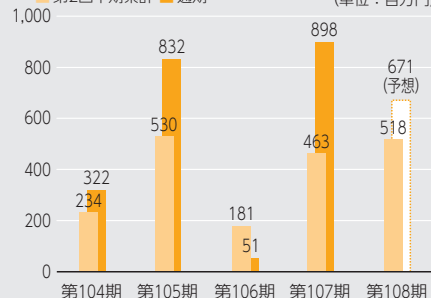
(単位：百万円)



■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

■ 第2四半期累計 ■ 通期

(単位：百万円)



全国に広がる当社のネットワークのなかから「掛川工場 WEST」をご案内するとともに、展示会出展の様様をご紹介いたします。

工場のご紹介  
Plant

平成28年6月に竣工した産業資材部門の中核となる新工場

## 「掛川工場 WEST」

(静岡県掛川市)

掛川工場 WESTが備える▶  
最新鋭の設備



平成27年7月に地鎮祭が執り行われ、その後順調に工事が進められていた掛川工場 WESTは、平成28年6月に無事竣工を迎え、当社産業資材部門の中核となる新工場としてスタートいたしました。

### 生産効率の改善と多様な製品展開を実現

静岡県掛川市に立地する掛川工場 WESTは、既存の掛川工場（機能性材料加工）の西側に隣接しています。敷地面積17,020㎡（5,148坪）の敷地内に立地する4階建ての建屋に、当工場の他、新たな研究開発拠点であるR&Dセンターが入居し、それぞれ活動しております。

#### Data

所在地：静岡県掛川市満水1000番6号  
設立：平成28年（2016年）



▲掛川工場 WESTの全景

掛川工場 WESTは、ラミネート加工、シリコン塗工、巻取り・仕上げまでを一貫して行える環境が整っており、近年市場が拡大している電子材料関連用途の高付加価値セパレーターにも対応できる最新鋭の設備を備えています。

これまで産業資材部門は、生産拠点の分散化と設備の老朽化により収益性の低下を招いていましたが、当工場の完成を機に、生産設備の統廃合と生産体制の再構築を推し進め、生産効率改善による低コスト・短納期化の実現と製品ラインアップの拡充を図ります。これにより、新たな顧客層を取り込み、当社グループの収益拡大に貢献してまいります。

### さらなる顧客満足度の向上を目指す

掛川工場 WESTでは、最新の施設・設備を、最大かつ最適に活用・運用することに加え、現場第一主義による製品づくりを貫きながらも、お客様の立場に立って厳しく管理・監視をすることが、高品質な製品の生産につながり、顧客満足度の向上に寄与していくものと考えております。

今後も引き続きお客様の信頼を得られるよう、熱意と気概をもって、日々努力を重ねてまいります。



展示会  
出展  
Exhibition

## さらなる販売促進・販路拡大を目指して

当社及び当社製品を広く皆様にご覧いただくため、積極的に国内外の展示会への出展を行っています。今回はその中から東京ビッグサイトで開催された3つの展示会をピックアップし、ご紹介いたします。

医薬・化粧品業界最大の専門技術展

### インターフェックスジャパン

「第29回 インターフェックスジャパン」が6月29日～7月1日に開催されました。双日プラネット株式会社様と共同で、防湿性・透明性に優れたフィルムを使用した医薬品包装材の『テクニフィルム』を中心に展示し、また他社製品との差別化を図るため、UVカット仕様の『テクニフィルム』も出展いたしました。



アジア最大の物流・ロジスティクスの総合展示会

### 国際物流総合展

2年に1度開催される「第12回 国際物流総合展」が9月13日～16日に開催され、当社ブースでは、ウェーブロール用エア充填機『ARM』をメインに出展いたしました。汎用性がある扱いやすいエア緩衝包装材であるウェーブロールは、様々な業種の方々から興味を示していただきました。



アジア最大級の包装(パッケージ)総合展

### 東京国際包装展

「2016 東京国際包装展」が10月4日～7日に開催されました。当社の大ヒット商品『レンジDo!』シリーズの新製品であるスタンディングタイプ『レンジDo! ST型』を使った実演や、充填機にかけている様子を映像でご覧いただくことによって『レンジDo!』の強みをアピールいたしました。他にもエア緩衝材の高圧自動充填機『ARM』・防災用品関係(『エアロマット』、『スチームパック』)・衣類圧縮袋(『NINJAPACK』)などの当社独自技術を駆使した商品を出展し、多くの方々にご来場いただきました。

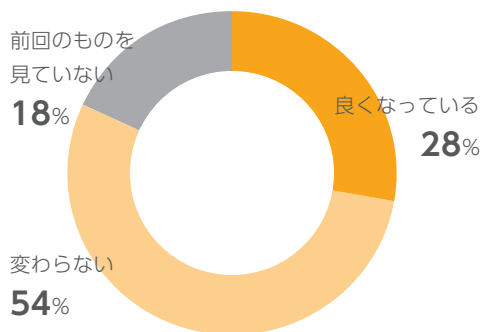


# Questionnaire

アンケート結果

「株主の皆様へ 第107期決算のご報告」において、アンケートを実施いたしました。多くのご回答、ありがとうございました。ここにアンケート結果の一部をご報告いたします。

Q 前回の株主通信（報告書）と比較していかがでしたか？



「良くなっている」というご回答を28%いただきましたが、半数以上の方からは「変わらない」とお答えいただきました。この冊子に対する株主の皆様からの期待の表れと考え、引き続き冊子の改善に努めてまいります。

**ご要望** 今後もアンケートを通じて、株主とのコミュニケーションを図ってほしい。

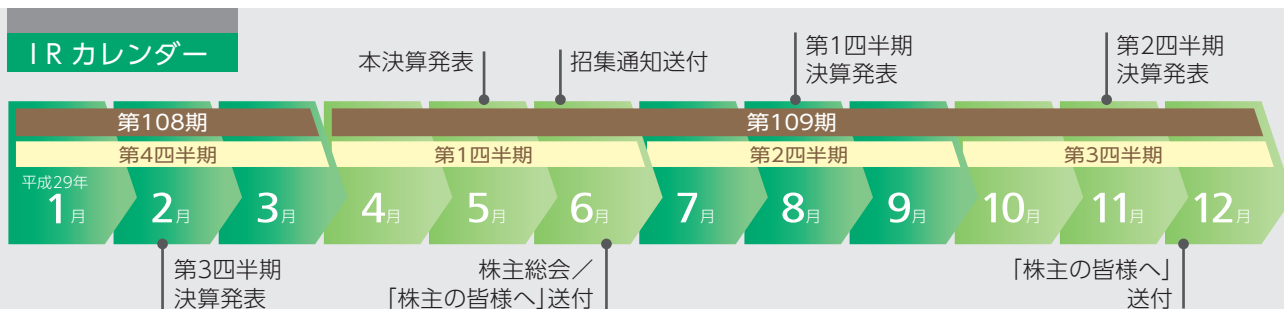
アンケートに対するご要望をお寄せいただき、ありがとうございます。

この冊子に対するご意見・ご要望、株主還元についてのご意見・ご要望、今後の事業展開に関するご意見など、自由記述欄を通じて皆様のお声をいただいております。こうしたお声を受け止め、皆様の情報ニーズに即した情報の発信を考えてまいります。今後とも、皆様のお声をお寄せいただければと存じます。

なお、当期の配当につきましては、剰余金の配当を中間配当と期末配当の年2回とするという基本方針に基づきまして、下記のように配当を実施させていただく予定です。

1株当たり 配当金	中間配当(実績) 7円	+	期末配当(予定) 7円	=	通期配当(予定) 14円
--------------	----------------	---	----------------	---	-----------------

● 今回もアンケートを実施いたします。裏表紙にご案内を掲載しておりますので、ぜひご回答ください。



# Stock Information & Corporate Data

株式の状況・会社概要 (平成28年9月30日現在)

## 株式の状況

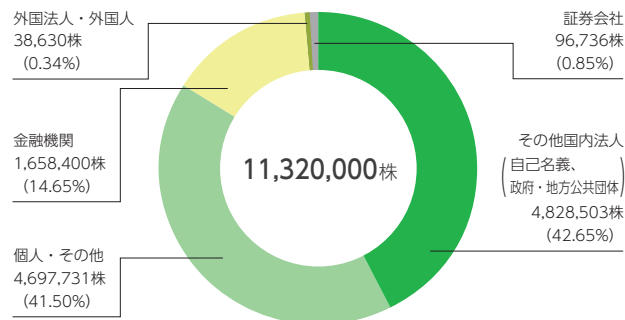
- 発行可能株式総数 …………… 45,000,000株
- 発行済株式の総数 …………… 11,320,000株
- 株主数 …………… 2,286名

## 大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
新生紙パルプ商事株式会社	1,812,200	16.51
昭和ボックス株式会社	1,244,200	11.33
サンエー化研社員持株会	365,900	3.33
株式会社三菱東京UFJ銀行	310,000	2.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・昭和ボックス(株)口)	300,000	2.73
みずほ信託銀行株式会社 (退職給付信託 昭和ボックス(株)口)	300,000	2.73
双日プラネット株式会社	227,000	2.06
株式会社みずほ銀行	200,000	1.82
山田美千代	126,250	1.15
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	119,100	1.08

- 1.当社は自己株式を345,203株保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
- 2.持株比率は自己株式(345,203株)を控除しております。

## 所有者別株式分布状況



## 会社概要

商号	株式会社サンエー化研
本社所在地	東京都中央区日本橋本町1-7-4
事業所	関西支店、名古屋営業所、静岡営業所 静岡工場、袋井工場、掛川工場、掛川工場 WEST、 奈良工場 研究所(10月よりR&Dセンターに改称) 台北営業所
設立	昭和17年9月
資本金	21億76百万円
従業員数	533名
主な事業内容	紙、プラスチック、金属箔等を主原材料とする 軽包装材料、剥離紙、粘着テープ基材、表面保護 フィルム等、包装材料関連製品の製造及び販売

## 連結子会社

東邦樹脂工業株式会社

本社・工場／栃木県下都賀郡野木町野木148

灿櫻(上海)商貿有限公司

中国上海市長寧区虹橋路

## 役員

代表取締役社長	藤岡 宣隆	取締役	大橋 宏行
専務取締役	林 喜久雄	社外取締役	藤澤 廣一
常務取締役	藤岡 貞章	常勤監査役	鈴木 直樹
取締役	山本 明広	監査役	宮本 貞彦
取締役	櫻田 武志	監査役	飯崎 充

(注) 監査役 鈴木直樹、宮本貞彦及び飯崎充の各氏は、社外監査役です。

## ■株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社  三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL:0120-232-711(通話料無料)
同連絡先	
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 JASDAQスタンダード
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.sun-a-kaken.co.jp">http://www.sun-a-kaken.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします)

[株式事務に関するお問い合わせ]

- (1)住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取請求等のお申出先について  
証券会社に口座を開設されている株主様は、当該証券会社にお問い合わせください。  
証券会社に口座がないため特別口座に記録されている株主様は、当社の特別口座管理機関(兼株主名簿管理人)である、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL:0120-232-711(通話料無料)
- (2)払渡期間経過後のお取り扱い  
配当金領収証の裏面に受取方法を指定し、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部までご郵送いただくか、同銀行全国各支店窓口にてお受け取りください。

当社の詳細なIR情報は、  
ホームページをご覧ください。

当社ホームページの〈投資家情報〉では、詳細なIR情報を掲載しております。  
また新製品情報をはじめ、業務内容や最新の企業情報、展示会情報等についてもご覧いただけます。



<http://www.sun-a-kaken.co.jp>

## 株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で謝辞(図書カード500円)を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 4234

いいかば

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

## 株式会社 サンエー化研

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-7-4  
TEL 03-3241-5701 FAX 03-3241-5719



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

